

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	68 地域振興事務経費(しまがはら夏まつり開催補助金)	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	61 市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる	目	06	企画費
		細目	122	地域振興経費
		細々目	01	地域振興事務経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 600100 名称 島ヶ原支所 振興課	担当者氏名	谷口 順一	連絡先 59 - 2053 (内線) 61

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民、来場者	※対象件数
成果(どうする)	夏まつりを開催することにより、子どもから高齢者まで交流する機会ができ、世代間、住民相互の交流ができます。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 4 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	1)しまがはら夏まつり実行委員会に開催補助金を交付し支援した。 ・平成22年8月第1土曜日に開催した。 ・「島ヶ原地域まちづくり協議会」が中心となり住民主体で実行委員会を組織し運営を行った。 ・ステージ・販売ブースでは、地元島ヶ原や伊賀市内からの団体が出演・出店をした。 ・協賛金で花火の打ち上げを行った。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
企業会議・実行委員会会議	回		目標	6	6	
			実績	7	6	6
			目標			
			実績			

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
しまがはら夏まつり来場者数	人	来場者数を増やすことが、地域振興の状況を示す指標となる。	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績	4,500	4,500		
			目標				
			実績				

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金	2,461	2,381	2,178	2,178
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,400			
	一般財源	61	2,381	2,178	2,178
	事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	フルコスト(A)+(B)	3,181	3,101	2,898	2,898

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	実施団体である実行委員会は住民自治協議会を中心として組織され、世代を超えて企画、運営がされていることから、将来の町づくりの担い手となる若い人の育成にも役立っている。郷土意識及び協調性の高揚を図るためにも、今後も支援、育成が求められている。	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】		
効果性	他事業との連携の有無		
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
改善策	受益者負担を求めることができる事業である。	花火打ち上げ事業については、寄付金を募り実施している。参加者が不特定多数であり受益者負担を求めることはそぐわない事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	【状況】		計画のとおり進んでいる
	【詳細】		
昨年度の取組状況	昨年度の取組状況	まつりの内容を充実させるため、企画運営会議等を実施した。約4,500人の来場者があった。	
	改善策	温泉施設で開催しているので、地域住民は勿論のこと、観光客を誘導し、来場者数が増加するよう努める。	

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増永 由美	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	地域住民は勿論のこと、誰もが気軽に参加できるような場をつくと共に、地域の活性化に結びつけるため、PR活動の展開に努め、尚一層、来訪者の増大をめざす。
現時点における課題、その他	唯一、地域を代表するまつりの行事として定着してきたので、企画内容を充実させ盛大に行う。	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	まつりの内容を充実させ、地域住民の参加をさらに促進すると共に、より魅力あるまつりとなるようにする。	